

歯科衛生士概論

[講義] 第1学年 前期 必修 1単位

《担当者名》専任教員 / 岡橋 智恵 / 大山 静江 / 千葉 利代 / 山形 摩紗

【概要】

我が国における歯科衛生士の教育は、昭和24年から開始されているが、この間、歯科保健に対する社会的ニーズは、その時代時代を反映して多くの変遷を経て今日に至っている。歯科医学・医療の発展は元より、国民の健康に対する概念も変化し、社会のニーズに合った歯科衛生士の育成が望まれている。歯科衛生士概論は入学した学生に対し、歯科衛生士が何故必要とされ、どのような社会的使命、歯科医学的役割を担っているのかを学ぶ。

【学修目標】

歯科衛生士になるために必要な歴史や現状を修得する。

- 歯科衛生士の歴史を説明する。
- 歯科衛生士の組織と活動の現状を理解する。
- 海外における歯科衛生士教育を理解する。
- 多職種における歯科衛生士の働きを説明する。
- 歯科衛生士の法的性格と業務内容の要点を理解できる。
- 歯科衛生士の業務独占、名称独占について説明できる。
- 安全管理の必要性を説明できる。
- 感染対策の基本原則を説明できる。
- 歯科専門領域の基本的用語を理解できる。
- 歯、口腔の健康と疾患、異常について理解できる。
- 歯科医療の特異性について理解できる。
- 医療職としての心構えについて理解できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|--|--|-------|
| 1 | グループワーク 「歯科衛生士何をする専門職なのだろう」 歯科衛生の歴史と現況 1) 歯科衛生の誕生と経緯 2) 歯科衛生士の養成教育 3) 歯科衛生業務の現況 | 「歯科衛生士はなにをする専門職か」について考える。 日本の歯科衛生の誕生について概要を理解する。 歯科衛生士の養成教育について理解する。 歯科衛生業務の現況について理解する。 | 岡橋 智恵 |
| 2 | 歯科衛生と健康 1) 健康の考え方 2) 生活習慣と健康 3) 健康増進への関与 | 歯科衛生と健康の関係を説明できる。 健康と予防の定義を説明できる。 日本の健康づくり運動と歯科口腔保健の推進を説明できる。 ライフコースアプローチを説明できる。 生活習慣と健康の関係を説明できる。 | 山形 摩紗 |
| 3 | 歯科衛生士法と歯科衛生業務 1) 歯科衛生士と歯科衛生士法 2) 歯科衛生士の役割 3) 関連法規 4) 安全管理 | 「歯科衛生学総論」P42～54 歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について概説できる。 歯科衛生士の業務独占、名称独占について説明できる。 歯科衛生士の専門性について概説できる。 歯科衛生業務に関連する法規を列挙できる。 安全管理の必要性と法的責任について説明できる。 | 大山 静江 |
| 4 | 歯科衛生士法と歯科衛生業務 リスクマネジメント 1) 事故防止対策 2) 事故発生時の対応 | 「歯科衛生学総論」P55～65 ヒューマンエラーを分類できる。 本校のインシデント、アクシデントの傾向を説明できる。 針刺し事故が起きた際、対応できる。 | 大山 静江 |
| 5 | 歯科衛生士法と歯科衛生業務 | 歯科医療における感染対策の概念とその対策を説明 | 千葉 利代 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|--------|---|--|-------|
| 5 6 | 感染予防対策 1) 感染予防の基礎知識 2) 感染予防対策の実際 | できる。 標準予防対策について説明できる。 感染事故時の対応を判断することができる。 | |
| 7 | 歯科衛生士として求められる能力 歯科衛生過程 | プロフェッショナルリズムについて説明できる。 歯科衛生過程の意義について理解する。 歯科衛生過程の基盤になる考え方について説明できる。 | 岡橋 智恵 |
| 8 | 保健・医療・福祉の制度と多職種連携 | 歯科衛生活動の特徴について理解する。 歯科衛生活動に関連する制度や法律について理解する。 地域包括ケアシステムについて理解する。 歯科衛生士の実践的な活動領域と役割を理解する。 | 岡橋 智恵 |
| 9 | 災害時における歯科衛生活動 | 災害時の歯科保健医療活動の仕組みについて理解する。 災害時の歯科専門職の活動について理解する。 災害時の備えについて説明できる。 | 岡橋 智恵 |
| 10 | 歯科衛生士の国際化 歯科衛生士の組織活動 歯科衛生士のキャリア形成 | 歯科衛生士の国際活動の意義について理解する。 健康と歯科保健の世界的課題について理解する。 国際保健医療協力の仕組みを理解する。 歯科衛生士の専門職組織について理解する。 歯科衛生士のキャリア形成の必要性和方法について理解する。 | 岡橋 智恵 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 90%

授業態度 10%

以上を総合的に判断する。

【教科書】

歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学概論」 医歯薬出版

歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論第2版」合場千佳子ほか 医歯薬出版

【学修の準備】

[授業時間外学習]

予習：30分...教科書や講義資料を読んでおくこと。

復習：30分...教科書の該当部分の授業内容と資料を読んでまとめる。

【実務経験】

岡橋 智恵（歯科衛生士）

大山 静江（歯科衛生士）

千葉 利代（歯科衛生士）

山形 摩紗（歯科衛生士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床の現場での実務経験を活かし歯科衛生士がなぜ必要とされ、どのような社会的使命、歯科医学的役割を担っているのかについて講義する。